

お年賀ニュースレター「かけはし」

新春特別 第16号 2015年1月1日発行

自動盤専門商社 (株)鈴喜：鈴木佳之です。

「謹賀新年」 年賀状に代わりましてお年賀ニュースレターを送らせていただきました。昨年中は大変お世話になりました。本年で無事6年目を迎える事が出来ます。皆様のおかげで昨年度(株)鈴喜の機械販売は、ものづくり補助金、中古機械の売買が追い風となり順調となりました。お世話になりました皆様に心よりお礼申し上げます。本年も現状維持ではなく、新たなチャレンジ、次のステップへの躍進を目指します。



今年の生活信条

明けましておめでとうございます。
今年も生活信条を表明させていただきます。
昨年と大きな変化はありません。今年も無理せず、自分の出来る事を一つずつこなして行きます。

- 早寝・早起きの生活習慣を乱さない。
PM21:00 就寝-AM4:00 起床
- 健康の維持管理をする。
週一回プールに行き泳ぐ。
- 事業計画の達成に向け、PDCA サイクルを着実に廻す。現状に甘んじない。
- 他の人がやらない事をする。
適者生存を旨に、小粒でも生き残る。
- お客様・取引先との Win-Win の関係を目指す。
近江商人の「三方よし」に学ぶ。
- 全て結果は自分の責任である。
人のせいにならない、自分自身が変わる。
- 妻・親兄弟を大切にする「心より感謝する」
感謝を態度で表す。家族との時間を作る。
- 空き時間を使い勉強する。
車では DVD、電車では本を読む。
- 失敗を恐れない。
新たな事に挑戦する。

明智光秀の子孫、明智憲三郎氏に会う

明智光秀の子孫が今もいるのをご存じですか。
本能寺の変の後、明智の残党狩り手を逃れ神社にかくまわれた光秀の子：於鶴丸（おづまる）が生き延びておりました。

於鶴丸の子孫にあたるのが明智憲三郎氏です。
本能寺の変の後、於鶴丸は明田と名字を変え密かに落ち延び、子孫を残しました。

憲三郎氏の曾祖父が当時のお役所に申し出て明田から明智に名字を戻すことを申し出ました。家系図や光秀の書いた和歌・短冊を見せ、事実である事が認められ改名を了承されました。

しかし、それらの品は関東大震災で焼失してしまい現存しておりません。

憲三郎氏は慶応大学院を卒業後、三菱電機でシステムエンジニアをしていた傍ら50年にわたり独自に本能寺の変について調べてきました。

先日、憲三郎氏の講演が紀伊国屋である事を知り家族で聞きに行って来ました。

講演はエンジニアらしい理論的で整然とした内容に感銘を受けました。

100年も続く戦国時代みな平和な世の中を渴望していた。しかし信長は天下統一の後に明の国に攻め入る計画を立てていた。

国内は信長の一族で統治し、海外には有力武將を送り込む計画であった。これに明智一族も存亡の危機を感じ生き残りを賭け謀反を起こした。

当時は一族の生き残りが最重要課題であり。

そのための下剋上は当然の事であった。

自分は家康の宴席の不備を信長に叱責され、以前からの不満も重なり、謀反に及んだと信じておりましたが異なった史実見解に引き込まれました。

小5の娘は学校の歴史で安土・桃山時代を勉強中です。審議の奥深さは難しいのですが、戦国武將の生き方に少しロマンを感じてくれ、そして憲三郎氏にも握手をしてもらい大喜び。

とても有意義な講演会となりました。

※明智憲三郎氏は著書も発行している。
「本能寺の変 431 年目の真実」788 円

↓ 憲三郎氏の著書



↓ 憲三郎氏と握手をする娘



自動盤業界の今年を読む！

昨年は消費税増税以降、自動盤業界でも仕事量が落ち込み、秋以降停滞した状態が未だ続いている。大企業では円安効果も加わり最高益を更新する企業もあるが我々には実感が乏しい。安部首相が寒空の下「中小企業、小規模事業者にも景気回復の暖かい風をお届けしていく」とアピールをしていた。リーマンショック以降、厳しい状態から抜け出せない自動盤屋さんが多い、早くしてくれないと凍える方も出て来てしまう。ゴールドマン・サックスでは今年末にはドル/円相場が 130 円に達すると予想している。部品加工の国内戻りも期待されるが、今年も更に二極化は進むであろう。自動盤業界関係者の方々に本年の見通しを伺った。読みにくい状況である事は一致していた。しかし厳しい状況下でも活路を見出し前向きに挑戦して行くという声が多い。(株)鈴喜においても現状維持では右下がりになる事は見えている。今年も大きな変化が予想される。必ずしも強い者が生き残る訳では無い、自分の特性を磨き、小粒だが生き残りを懸け挑戦していく。

■スター精密(株) 東京営業所 営業 筒井新

本年もスター精密(株)のNC自動盤の生産量は通年の4割増フル生産で納期短縮を図っていく。営業サイドでは少し在庫を確保したいのだが一向に注文から納入までの納期は縮まらない。昨年、秋ごろから国内の自動車関連の一部では仕事量が減少している。しかし、機械の成約件数は依然好調である。国内の各営業所でも受注予測は落としておらず昨年同様の4割アップの生産は今年も継続の見通し。東京営業所においては特にこの業種が忙しいので受注増加に影響していると言った目立った手ごたえは感じていない。設備導入するお客様も将来にわたって継続する仕事量を確保して導入される方は少ない、不安な部分を残しつつも設備導入を決断している。本年も機械販売においては忙しい状況は続くと思えるが、確実な見通しが付いている訳では無く、今が良すぎる分、反動が心配である。国内自動盤市場においては難削材の部品加工比率は今後も高まる。また難削材の手間のかかる加工でなければ加工単価の確保が難しくなっていく。スター精密(株)製自動盤の特性である高剛性を生かし問題解決営業を今年も引き続き行う。

■(株)浪速金属工業 取締役 中島健

各自動盤屋さんにおいても更に二極化が進む。円安を背景に海外に出て行った仕事の一部が国内に戻る可能性が高いと考えている。しかし戻ってくる仕事の加工単価は安く、競争力のある自動盤屋さんでしか対応は出来ない。有力な自動盤屋さんは既に仕事を抱えており、忙しい状態が続いている。更に拍車が掛かるため対応が難しくなると予想する。

■(株)ツールデザイン 代表 吉原正純

昨年良かった分、今年はこのままでは行かないと思われる。円安を追い風に輸出企業は引き続き好調だがその他は厳しい状態になる。一部では既に仕事量が減少しているお客さんも増えてきている。自社では特殊製作工具の注文に追われ忙しい日々が続いている。迅速な対応を心掛けている為、早朝からCADに向かって製作工具の図面を書いている。体力勝負の部分もあるがフルで活動している。今年も山梨工場の設備導入は検討している。更にパワーアップして自動盤工具のコンシェルジュとして提案営業で勝ち抜いて行く。

■日本特殊陶業(株) 埼玉営業所 営業 畦岡

NTKチップ・ホルダー等は昨年末も受注量が上がって来ている。生産工場において昨年も大がかりな設備導入を行い生産能力の増強を図ったが、今年も引き続き設備増強を行い受注量の増加に備える。円安も追い風となり更なる売上増加を見込む。翌年2016年も上積みの上で事業計画を立てており景気は拡大傾向にあると予測している。

■(株)北條精工 代表取締役 五十嵐社長

先が読みにくい年明けである。昨年の秋ごろと比べ仕事量は減少している。年明け早々からの急激な落ち込みは無いと推測しているが今年は徐々に落ち込むかと思われる。量産加工の仕事は減少しており楽観視出来ない状態は続く、しかし、現状維持で動いては落ち込んでしまう。厳しい状況下だが自分達の得意分野で今年も前向きに挑戦して行く。



発行者：(株)鈴喜 鈴木佳之 自動盤専門商社
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-10-8
TEL 048-829-7666 E-mail: yoshiyuki@suzukipc.jp
FAX 048-829-7637 HP : http://jidouban.com
携帯 080-1611-1192 ((お電話お待ちしております!))

